

休暇村 能登千里浜野営場の平成19年度管理状況

施設所管課	環境部 自然保護課
指定管理者	(財)休暇村 能登千里浜 支配人 矢津田 則幸
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・従事員全員に対し、清掃・整備管理を徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者ニーズの反映(施設の改善など) その他特記事項 ・休暇村本館において行っている天体観測会への参加
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・手ぶらキャンプ等の企画を実施(389人) ・キャンプ&ホテルプランの実施(21人) 施設の情報提供、広報、広告 ・(H19新規)ホームページを充実し、インターネットからも予約可能にした。 ・チラシの作成及び金沢・富山・福井へのセールス 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 ・周辺小中学校及び子供会への利用促進、ゲートボール大会
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数((2)参照) ・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃 保守点検 園地整備
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・危機管理マニュアルの策定、職員への教育 個人情報パスワード付のコンピューターによる管理

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H18年度 (参考)	H19年度	前年度比	増減理由
利用者数(人)	3,478人	3,845人	+367人	家族客の増

使用許可等の状況

	承認件数		
オートサイト	695		
フリーサイト	818		
合計	1,513		

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(単位：円)

	収入額	減免額	減免理由
オートサイト	655,320	なし	
フリーサイト	373,460	なし	
合計	1,028,780		

(4) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
管理料	1,363	人件費	2,975
テントサイト管理料	2,863	光熱水費	516
テントサイト利用料	1,029	修繕費	1,022
		管理費	1,189
その他収入(用具レンタル、売店)	3,102	売店等材料費	1,690
		広報宣伝費	614
合計	8,357	合計	8,006
収支差額	351		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望
なし

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 19 年 7 月	管理棟排水管の詰まり。	修理済み。
平成 19 年 8 月	第 1 フリーサイト女子トイレ 排水管詰まり	修理済み
平成 19 年 8 月	第 2 フリーサイト男女トイレ 排水管詰まり	修理済み
平成 19 年 8 月	フリーサイト炊事棟 2 カ所 排水管詰まり	修理済み

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか	A	<ul style="list-style-type: none">・ チラシ作成や地域・隣県へセールスにより積極的に広報宣伝に努めている。・ (H19 新規)インターネット予約を可能にして、利便性を高め、インターネット広告を利用して集客を図っている。・ 本館での温泉利用や天体観測会、手ぶらでキャンプパック等の企画により、年々利用者数が増加している。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none">・ 仕様書等に基づき、適切な管理が行われている。
適切な管理運営・危機管理を行う組織・体制か。	A	<ul style="list-style-type: none">・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。・ (H19 新規)本館にAEDが設置され、緊急時に使用可能。・ 全国に展開している休暇村協会の専門的ノウハウを活かし、業務に関する研修・講習が十分なされている。・ 環境に配慮した取り組みを行っている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	<ul style="list-style-type: none">・ 個人情報保護において、適切な管理がなされている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none">・ 利用促進の取り組みの結果、利用者数が増加している。

評価基準

- A(優):仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良):仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可):仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可):仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優):適正であり、優れた実績をあげている
- B(良):適正である
- C(可):概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可):改善が必要である